

## 第6次豊橋市総合計画後期基本計画策定基礎調査等委託業務 仕様書

### 1. 目的

本市は、現在第6次総合計画（2021－2030）を推進しており、令和7年度で5年経過する。そのため総合計画のうち後期基本計画について、令和6年度から2か年をかけて策定する。

本業務は、後期基本計画策定の基礎となる必要データの収集や整理、基礎フレームの推計と将来予測を行うとともに、市民会議運営や、アンケート、国県の動向、アフターコロナの状況調査・分析などの作業委託を目的とするものである。

なお、前期基本計画は、まちづくり戦略（第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略）（以下、「まちづくり戦略」という。）と一体的に策定している。まちづくり戦略についても同様に計画期間が終了することから、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化するため、新たに「豊橋市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）（以下「次期まちづくり戦略（豊橋市デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）」という。）を策定することを目的とする。

なお、急激に進行する少子化・高齢化及びそれに伴う人口の減少が市の将来設計に与える影響は非常に大きいため、本業務の実施に併せて豊橋市人口ビジョン（以下「人口推計」という。）の見直しも行うものとする。

### 2. 調査項目および内容

#### （1）基本フレームの推計と将来予測

本市の将来人口（次期まちづくり戦略（豊橋市デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称））の策定基礎となる人口ビジョンについて、統計データ等の時点修正を行い、最新の人口データ等に基づいた人口の将来推計及び分析）や、産業別生産額等（農業産出額、製造品出荷額等、商品年間販売額、産業別就業構造など）に関する主要指標（基本フレーム）の実績、物流の変化（名豊道路全線開通、豊橋新城スマート IC（仮称）、2024 問題）、本市の特徴である外国人市民を取り巻く環境の変化などから将来見通しを行うとともに、予測される長期的な行政課題の抽出・検討を行う。特に将来人口については、直近（2024 年）までの本市の住民基本台帳ベースの人口や出生数、転出入数等の推移まで加味して推計をすること。また、国内の他都市や世界で選ばれている（人口や移住・定数者数が増加している）都市の特徴や共通点の整理を行う。

#### （2）市民ワークショップ及び市民会議の運営

##### （i）市民ワークショップの企画・運営

- ① 子ども、若者、女性など幅広く市民の意見を吸い上げることのできる先進的・画

期的な市民を対象としたワークショップの企画提案を行うこと。

- ② 参加者募集チラシ（兼応募用紙）を作成すること。
- ③ 当日の運営（資料の作成、会場準備、ファシリテーターの配置など）を行うこと。
- ④ 意見の整理・記録（写真撮影、要約等）を行うこと。
- ⑤ ワークショップ実施報告書の作成を行うとともに、中間まとめを作成し、提出すること。

回数：全4回程度（令和6年度のみ）

日時：①の提案内容に沿った最適な開催日時及び所要時間を提案すること

（ii）市民会議の開催支援

- ① 市民会議の企画提案（構成、開催プログラムの提案や計画への反映方法の提案）
- ② 会議資料の作成支援
- ③ 議事録の作成・委員への確認

※市民会議の想定（あくまで想定であり、構成や回数、分科会の有無などは提案・協議により変更するものとする）

構成：まちづくり市民会議（学識経験者、各種団体代表など15名程度）

回数：全10回程度

日時：平日開催、1回あたり1～2時間程度

（3）アンケート調査、アフターコロナの動向調査・分析及び国・愛知県の動向調査

次に記した調査・分析を行うとともに、調査・分析結果をもとに総合計画策定会議で検討するテーマ（今後のまちづくりに向けたニーズや課題など）について提案すること。

（i）アンケート調査・分析

アンケート票の作成・発送準備（宛名の印刷、封入・開封など）・回答の入力・集計、結果の分析・整理を行うこと。

調査・分析結果をもとに総合計画推進会議で検討するテーマ（今後のまちづくりに向けたニーズや課題など）について提案すること。

※封筒については本市で用意する。

※宛名のデータは本市で用意する。

※郵送料については市の負担で行う。

（ii）アフターコロナの動向調査・分析

新型コロナウイルスの感染拡大によって、激変した社会・経済・生活の状況（人の流れや意識、価値観などを含む）を調査し、アフターコロナを見据えて取り組むべき課題などの動向調査・分析する。

（iii）国・愛知県の動向調査

国・愛知県の上位計画など、考慮すべき今日的な課題を整理する。

(4) 総合計画における SDGs とデジタル田園都市国家構想総合戦略の関係性整理及び一体化の支援

第6次豊橋市総合計画前期基本計画の計画期間における SDGs 進捗を整理するとともに、第6次豊橋市総合計画後期基本計画の計画期間における SDGs とデジタル田園都市国家構想総合戦略の関係性整理及び一体化の支援を行うこと。

また、進捗管理に必要となる KPI などの指標設定について、最適なものを設定できるよう支援すること。

### 3. 業務期間

契約締結の日から令和7年9月30日まで

実施年度	主な内容
令和6年度	基本フレームの推計と将来予測(人口推計(人口ビジョン)、産業別将来見通し、物流変化(名豊道路前線開通、豊橋新城スマート IC(仮称)、2024 問題)、外国人市民を取り巻く環境変化、転入転出状況など)、アフターコロナの動向調査・分析、国・県の動向調査、市民ワークショップの運営
令和7年度	総合戦略、SDGs 等との関係性の整理及び一体化支援
令和6年度～令和7年度	市民会議(全10回程度、平日夜開催、2時間程度)

### 4. 成果品

以下の成果品を納めること。なお、成果品に係る一切の権利は豊橋市に帰属するものとする。

(1) 中間調査報告書

2. で示す調査項目及び内容について、中間まとめをA4版、電子データ(ワード、エクセル、パワーポイント、PDF等)で作成し、令和6年12月2日までに提出すること。

(2) 調査報告書

A4版、カラー印刷150～250ページ程度30部および電子データ(ワード、エクセル、パワーポイント、PDF等)一式を令和7年9月30日までに納入すること。

(3) 市民会議の議事録等

電子データ(ワード、エクセル、パワーポイント、PDF等)にて会議ごとに納入すること。

### 5. その他

子ども、若者、女性など幅広く市民の意見を吸い上げる手法を提案すること。